

THE ピックアップ

テーマカフェ

スーパー自治会
活動を思いつく

2017年 11月 30日(木)



会費10万円でも入りたい自治会!?

11月のテーマカフェでは、自治会活動を面白くしていくためのアイデア出しを大喜利形式で行いました。20代~80代まで、幅広い世代の方が集まり、自治会長を務めておられる方から、自治会のない地域に住んでいるという方も。ユニークなアイデアが飛び交い、笑い声の絶えない会となりましたが、活動で感じる課題や、世代間による意見の違いなどが垣間見える貴重な機会となりました。最後に、出てきたアイデアの中から自分が実現したいと思うアイデアを発表し閉会しました。

歳末
ボランティアフェア

2017年 12月 14日(木)



吹田市外からも参加いただきました

サクサクすすめる
会議術

1月 20日(土)



講師のお手本にくぎづけ

だんだんでもお気軽にご参加ください!
ラコルタの講座・イベント!

3月 23日(金)

市民公益活動団体
向け会計講座

現金出納帳から活動計算書の書き方について、税理士の講師から学びます。

●とき: 14:00~16:00
●定員: 先着20名

▼お申込み・お問い合わせはラコルタまで ※費用が明示されていないイベントは無料。※申込期限の記載がなければ前日まで。

TEL: 06-6155-3167

3月 25日(日)

南千里
かえっこ
バザール

遊ばなくなったおもちゃの交換と、様々なワークショップ体験。

●とき: 13:00~16:00
●対象: 子ども

毎月違うテーマで。
テーマカフェ

3月 29日(木)

施設の活用方法を
考える Vol.1

地域の宗教施設を防災拠点として活用することの可能性を探ります。

●とき: 19:00~20:30
●定員: 先着15名

編集
ノート

小学校でのプログラミング教育が 2020 年より必修化となります。プログラミングが注目される背景には、IT の普及だけでなく、物事を論理的に考え、解決していく力が身につくからだと言われています。ロジカルシンキングと言われるこの力は、地域や社会の様々な場面でも役立つのではないでしょうか。(春貴)

<発行責任者>柳瀬真佐子
<編集スタッフ>
茨木由美・春貴勇力・宮村佳子
森戸秀次・矢野眞里加 (五十音順)

ラコルタ吹田

検索

<http://suita-koueki.org>

アクセス 阪急電車千里線「南千里駅」改札出て左、千里ニュータウンプラザ6階

Newsletter Vol.22
※年4回発行(3月・6月・9月・12月)

ラコルタ

吹田市立
市民公益活動センター

VOL.22

出会う→集う→育てる→実る

Newsletter 2018年3月1日号

○表紙:「Be Social」第7回・鳥家華代さん

○中面:特集 / ITで挑む地域課題!

○うら:ラコルタの取り組み、講座・イベント

「市民公益活動」は市民が自発的に行う社会貢献活動です。

市民公益活動センター(愛称:ラコルタ)は市民の力で

吹田市をより良いまちにするため、これらの活動を支援しています。



第7回
とやはなよ
鳥家華代さん

私たちが暮らす地域や社会の事を
他人事ではなく自分事にする。
そういった“ソーシャルな生き方”的魅力をお伝えします。

妊活・不妊カウンセラー
不妊治療を経験した当事者として、NPO法人Fineでピアカウンセリング*を学ぶ。吹田で、心のサポート~SmileHeart~を立ち上げ、キャリア支援やアンガーマネジメント等にも取り組む。

*立場や抱える課題など、同じ背景を持つ人同士が、対等な立場で話を聞き合うこと。

TEL 080-1447-9777
toya8743@yahoo.co.jp

不妊治療は、勉強やスポーツと違い、努力をしても思い通りにならない」とばかりでした。頻繁に通院が必要なため、仕事との両立は難しい、治療に対する助成金は年齢・回数などに制限があり、経済的な負担も悩みの一つでした。何よりも、まだまだ社会では「子どもは自然に授かるもの」と思われている中で、親しい人にさえ相談できない状況が辛かったです。

活動を始めたばかり

ー自分の経験を誰かのためにー^{※当事者として寄り添う}
治療中、ストレスにより体調を崩したことときっかけで、心理の勉強を始めました。そんな時に、通っていたクリニックで、ピアカウンセラー募集の案内が目に留りました。自分の経験が同じ思いをしている人の役に立てばと思い、ピアカウンセラーになりました。

これからにつこう

人と関わるの活動は、ピアカウンセラーの私にとっても得るものが多く、自分に合っていると感じています。クリニックにもカウンセラーがいらっしゃいますが、不妊治療を経験したからこそ分かることがあります。患者であつたという当事者の立場で、治療に悩んでいる人の気持ちに寄り添っていきたいです。

やってみよう! ボランティア体験! ぶちボラ

ボランティア経験のない方でも気軽に参加できます。
単発・短時間で体験してみませんか?
(例)お掃除・小物作り・映画会アシスタント・
喫茶・お弁当作り・竹林整備・まち歩きなど。



ボランティア・NPO 初歩講座

興味のある方・活動しているがもっと理解を深めたい方など。
●3月18日(日) 星 13:30~15:00
●4月17日(火) 夜 19:00~20:30
●5月16日(水) 調 10:30~12:00
各定員 10名 毎月開催

出前講座
も受付中!



「ぶちボラ」「ボランティア・NPO 初歩講座」のお申込み・お問い合わせはラコルタまで

ラコルタの
ここに注目!
本号は ······

ITで挑む地域課題!

~シビックテックをはじめよう~

3 知っておきたい
3つのキーワード



シビックテック

Civic(市民)+Tech(テクノロジー)による造語。
ITを活用し、市民の力で地域課題を解決しようという考え方や活動。

東日本大震災以降、市民がITを活用し、地域課題を解決する“シビックテック”的取り組みが全国各地で広がりを見せています。WEBサービスやアプリケーション(以下、アプリ)の開発など、専門家にしかできない分野・領域から、既存のサービスを活用したまち歩きのイベント開催など、その取り組み内容は多岐にわたっています。

一方、2016年12月に官民データ活用推進基本法が施行されました。これは各自治体で、行政手続きのオンライン化や、オープンデータの取り組みなどを進めていくことが目的とされています。特にオープンデータ化が進むことにより、官民協働による取り組みがますます盛んになっていくと期待されています。こういった情勢を踏まえ、本号ではITを活用した、これからの市民公益活動の可能性について考えます。



Code for ~ (コード フォー)

シビックテックに取り組むコミュニティで、Code forの後ろには地域名が入る(Codeとは、プログラミング用語に由来)。法人格を有する団体もある。



オープンデータ

商用・非商用に関わらず、二次利用が可能であるというルールに基づき、汎用性がある形式で公開されているデータ。

多様な人がつくる日本のシビックテック

一般社団法人 コード・フォー・ジャパン 事務局長 隊内 一樹

2007年にNEC入社。2013年復興庁に出向し、福島県浪江町役場に勤務。避難中の町民向けアプリの開発事業などを担当。2017年4月から現職。



シビックテックはアメリカをはじめとした世界各国で活発に行われています。その中で、日本のシビックテックの特徴としてあげられるのは、活動している団体の多さと多様性です。

日本には“Code for~”と名乗り、シビックテックの活動をしている団体が全国に80以上あり、世界的に見ても非常に多いです。また、各団体の活動内容も非常に多様です。定期的な勉強会やアプリなどの開発の他、アイデアワークショップや地図づくりなどのイベントも行われています。団体の規模も数人～40人程度までと様々です。

各地の活動内容が多様であることの大きな要因は、活動メンバーが多様であることです。シビックテックという言葉からは、活動に参加している人がエンジニアなどITを専門にしている人たちがほとんどだと思われるかもしれません。しかし、実際には、エンジニアの比率は四分の一程度で、公務員やIT以外の会社員、行政区長、専業主婦など様々な方が参加しています。

シビックテックはITを活用して地域課題を解決する活動ですが、課題解決は技術がある人だけではできません。また、IT以外の要素も重要になります。そのため、課題を抱えている人やアイデアを出す人など様々な人が参加し、

- 一緒に活動を行っています。主体的に地域のことを考える人たちが集まり、行動へとつなげていく場であること。それがCode for~の重要な役割です。

そして、活動が活発な地域ではメンバー同士の仲が良いことに加えて、継続的に新たなメンバーが入ってきています。のために、子連れでも参加しやすい工夫や雰囲気など、誰もが参加しやすいような配慮がされています。また、意識的に学生や若い社会人など、普段はあまり地域活動に参加しない人たちを積極的に誘っている地域もあります。

今回、新たに立ち上がった“Code for SUITA”も多様でオープンな活動を進めていって欲しいと思っています。そして、ぜひシビックテックの活動自体を楽しんでください。

オープンデータの活用事例



ごみ出しの日がわかる
5374.jp (ゴミナシ.jp)

5374.jpは、自分の住んでいる地域を選択すれば、一番近いごみの日の情報が表示されるサービスです。2013年にCode for Kanazawaが開発し、金沢市がオープンデータとして公開しているごみ収集の情報を活用しています。

<http://5374.jp/>

色でゴミのジャンルを表示
捨てられるゴミの一覧も見られる

スマホで巡る 千里山

ITを活用!

吹田市内の動き



Code for SUITA
スタート!

2017年8月、シビックテックをテーマにした勉強会をラコルタが開催し、市民公益活動団体や吹田市、事業者、大学関係者など26名が集まりました。

ゲストに、Code for IKOMA代表の佐藤拓也さんをお招きし、生駒市内の取り組みやオープンデータの定義などについてお話しいただきました。

その後、NPO法人市民ネットすいたがCode for SUITAの呼びかけ人となり、情報交換や5374.jp 吹田市版の試作など、シビックテックの取り組みが進められています。



①8月に開催した勉強会の様子

事務局 : NPO 法人市民ネットすいた
<https://ja-jp.facebook.com/code4saita/>

2016年7月から8月にかけて、千里山商栄会が主催となりモバイルスタンプラリーが開催されました。これは、専用のアプリをダウンロードすれば、あらかじめ登録された場所で、電子スタンプが押される仕組みになっています。商店や、まちの名所、防災といったテーマごとでコースをわけ、全123か所にラリーポイントが設置されました。

千里山は転入者や関大生が多く住んでおり、若い世代の人に地域のことを知ってもらいたいという想いで取り組まれました。30ポイント集めた人には記念品などが進呈され、およそ150名の人が参加されました。



① 地域の歴史や住民目線の情報も知ることができる